

遊休農地を活用し、出荷先のニーズにあった農産物を大規模生産

取組主体	・SKファーム株式会社	地区名	・十和田大湯地区
解消面積	・3.2ha(平成27年度実績)	取組年次	・平成23年～
解消内容	・作物作付け(そば)	放棄の理由	・高齢化による労働力不足
取組のきっかけ	・耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用	荒廃の程度	・雑草の繁茂、一部樹木の侵入

取組の概要

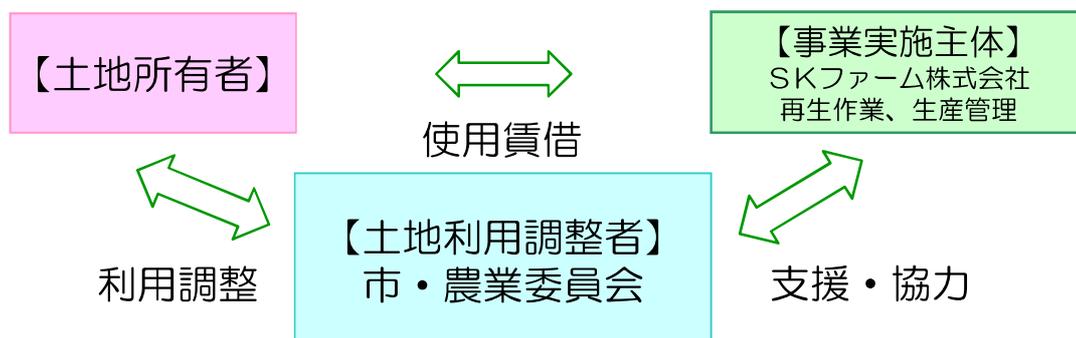
取組主体の概要

- 本社所在地は青森県つがる市です。
- 農事組合法人小館大根生産組合を設立(昭和60年),SKファーム(株)に改称(平成26年)
- 時期をずらした大根の生産を目的に平成21年より鹿角市での大根生産を開始しました。
- 経営規模を拡大するため、平成23年より耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の活用し、そばの生産を開始しました。
- 現在は、大根、そばに加え大豆、小麦を栽培し、経営の安定を図っています。

ポイント

- 「みんなに優しい作物づくり」をモットーに減農薬を推進しています。
- 鹿角市でのそば栽培は無農薬での生産を行っています。
- 一度荒廃している農地の解消作業と合わせて、土づくりから始めています。
- 周囲が竹藪のため、周辺の農家へ迷惑をかけず無農薬の取り組みが可能です。
- 農作物の大規模生産を行うために、出荷先と協議を行いニーズにあった農作物を生産しています。

取組体制



きっかけは？

平成23年度の畑作物に対する個別所得補償制度が開始されたことがきっかけ。
大規模生産を行うために、遊休農地を活用

活用した支援策

- 耕作放棄地再生利用緊急対策(国)(H23～)

課題と解決

引き受け
手 確保

・SKファーム(株)の経営規模の拡大予定に合わせて解決しました。

利用調整

・鹿角市および農業委員会で取組主体と所有者の調整を行いました。

再生作業

・SKファーム(株)が取組主体となり、国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用しました。

導入作物

・そばを導入しました。

販 路

・秋田県大館市の製粉会社

取組主体等から一言

○鹿角市十和田大湯の冷涼な気候と土壌により、出荷先のニーズにあった農産物を生産している。今後さらに規模も拡大し、雇用の拡大に繋げていきたいです。又、遊休農地解消にも積極的に取り組んでいきたいです。

【SKファーム株式会社 代表取締役 小館誠一】

○増加する遊休農地対策として、取組主体、市、農業委員会と積極的に連携を図り農地の解消に繋げていきたいです。

【鹿角市産業部農林課】

解消状況

再生前



再生中



再生後



連絡先：秋田県鹿角市産業部農林課（電話番号：0186-30-0631 ）